

# 構造例示型(事例5) 1次処理2室の強制攪拌実施による水質改善事例

## 【槽内状況】

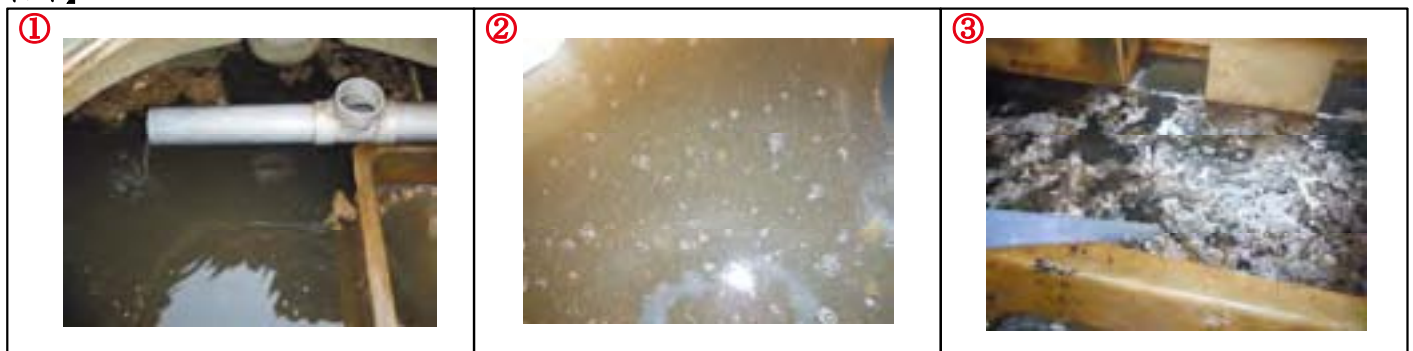


通常の調整は汚泥移送停止。

事例番号	5		浄化槽メーカー	㈱プラントシステム		
処理方式	嫌気ろ床接触ばっ気		浄化槽型式	PS		
法定検査日	平成 24 年 11 月 2 日		人槽	8 人槽	使用人員	4 人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽／沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	1未満	1未満	—	0	透視度	18 度
堆積汚泥厚(cm)	3	5	0	0	DO	6.3 mg/ℓ
透視度(度)	13	14	18		pH	6.8

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	各室のスカム厚、堆積汚泥厚が少ない。 1次処理2室にガスが発生している。 汚泥移送は常時稼働している。(10/分) 日平均汚水量 0.74m <sup>3</sup> /日 採水時間9:50				
	対策	ろ材内部の捕捉性を高める為、1次処理2室の強制攪拌を実施する。 透視度が回復するまで移送汚泥を停止する。				
保守点検からの措置 返信内容	11月6日	指示通り実施する。			透視度	18 度
					DO	6.5 mg/ℓ
					pH	6.8
	11月20日	1次処理2室を強制攪拌する。 DOが高くなった為、空気逃がし1/4回転開ける。			透視度	22 度
				DO	7.2 mg/ℓ	
				pH	6.9	
12月4日	透視度が改善する。 1次処理2室のガスの発生が少なくなる。 汚泥移送停止、空気逃がし1/4回転(開)で調整中。			透視度	32 度	
				DO	5.8 mg/ℓ	
				pH	6.7	

## 【ポイント】



① 汚泥移送装置  
常時稼働している(10/分)

② 1次処理2室の拡大写真  
ガスの発生が多い。

③ 1次処理2室のろ材押さえを突いた後  
ろ材内部からガスと汚泥が浮上する。